

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども支援ルーム ここにこ		令和7年 2月 10日				
	チェック項目	はい		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		6	0			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	こどもの様子であったり、見学者があるなど変則的なことで職員を増やすなどの対応をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		来所時の準備など、流れが分かりやすいように環境設定をしている。 活動の予定が分かりやすいように文字と写真を用いて、いつでも見れる場所に設置をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		生活空間はとても清潔であると思います。運動などの活動に関して、年長さんなどのクラスは少し狭いかと思う時もあります。	季節の良い時は積極的に戸外での活動を取り入れ、また、公共の施設などの利用も検討をしながら、こども達がしっかりと体を使った活動が行えるよう検討をしていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		2階の部屋を気分転換に使ったり個別療育のために集中できる環境に使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		打ち合わせ時に、前回の様子の情報共有や、その日の活動内容やねらい、配慮点などの共有を行っている。また、振り返り時には、こども達の様子等や保護者との話を職員で共有をしている。	今後も振り返り時や会議の際にPDCAサイクルを活用し、業務改善に努めていく。 出勤時に業務日報を必ず確認することを徹底する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		会議の際に保護者からの意見について、職員で話し合いを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		月1回の会議で意見交換できていると思う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		第三者による外部評価は行っていない。必要に応じて業務改善に努めていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		他事業所や小児科クリニックに研修を依頼し、外部研修を実施している。 事務所内での感染症などの研修はあり、その他は掲示物を見て参加したいものがあれば参加をしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ホームページでの公表、利用者へLINEでの配布を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者からのニーズの確認を行い、課題を検討しながら作成をしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3	日々の活動の中で共通理解なり課題の検討が職員間で共有されている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画をいつも見れるようにしており、また各自ファイルにどの子にどのような支援が必要かの資料がまとめられている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		インフォーマルなアセスメントは職員間だけの情報共有とし、療育当日に再確認し、支援にあたっている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		主に3人の職員で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節の関する活動を取り入れる等、興味を持って活動に取り組めるよう設定をしている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		活動は基本的には集団活動のみを実施。関りのなかで個別に対応が必要な場合は、1対1での対応を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		前回の様子の情報共有や、その日の活動内容やねらい、配慮点などの共有を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		その日の様子や保護者様と話した内容を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎回連絡帳を作成し、業務日誌には、お子様の特記事項や保護者との話を記載にしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		最低1回/半年行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		主に児童発達管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	相談支援員と必要時に連携・情報共有を行っている。 ご希望時や必要時は、並行通園をしている幼稚園・保育園への訪問や、担任の見学受け入れを行っている。	今後はより、幼稚園や保育園との連携を十分とれるよう努めていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		今後、積極的に行っていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		児童発達支援センターとの繋がりをもち、実習等の依頼を行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		2歳児さん以外は、地域の保育園・幼稚園に通われている方が大半のため、積極的な交流は行っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎回お帰りの際に保護者の方と話をする機会があります。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に契約内容、重要事項説明書を基に説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		利用開始前・モニタリング時に、保護者からお子様の様子の聞き取りやご希望等を確認し、その内容を基に個別支援計画の作成を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		個作成した個別支援計画を見ながら保護者に説明を行い、署名をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的な面談時以外にも、ご希望や必要性がある際は、面談を設けられる体制を作っている。 送迎の際に連絡帳の内容や活動時の様子から、助言等を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		今後、開催に向けて努力をしていきたい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談の依頼があった場合や、必要と考えた場合は個別で相談対応をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		アプリを使用し、活動予定表などを事前に発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		契約時に個人情報使用同意書に署名をいただいている。個人情報載っている書類は、鍵付き書庫で管理をし、データについては管理者のみが扱える体制にしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お子さまに応じて分かりやすい伝え方を行っている。写真や絵・文字を用いてスケジュール表記をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	ハロウィン等の行事に地域の方々に協力いただいたり、散歩時に声を掛け合ったり、地域との関わりを大切に心掛けている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアル等の作成は行っており、いつでも確認が出来るようにしている。	今後、より周知に努めていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		策定した業務継続計画（BCP）を基に職員間での研修や訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時に確認を行っている。対応が必要な場合は、事前に医師の指示書と薬を預かっている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時に確認を行っている。対応が必要な場合は、事前に医師の指示書と薬を預かっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、内容に基づいて研修や訓練、また、建物・周囲、使用物品等の安全確認を職員全員で行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			玄関に設定し、いつでも閲覧が出来る状態にします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットがあった場合は、すぐに職員間で共有をすると共に、会議でも再度、対応策についての見直しを行っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	内部研修をすると共に、虐待防止のマニュアルを作成している。常に支援は虐待防止等を意識して行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		やむを得ず身体拘束を行わなければならない子どもがまだ居ないので組織的には行われていない。現状、身体拘束を行う利用者はいないが、今後そのような状況が発生する場合は、3要素に基づいた内容を作り、保護者様や本児に十分に説明・承認後に各計画に記載することになっている。	